

平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
政策目標 5 多様な暮らしが選べ、快適に暮らせるまちに
重点的取組 4 手軽に出かけ、移動できる環境を整える

担当課名	建設部 都市・建築局 都市計画課
予算科目	会計 01 一般会計
	款 02 総務費
	項 01 総務管理費
目	目 12 生活交通対策費

事業名	地域公共交通再編事業	事業開始年度	平成 22 年度
	生活交通の利便性の向上	根拠法令 条例 個別計画等	廿日市市生活交通再編計画 (平成23年3月)

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	路線バスの運行していない地区等のバス利用者	市民が手軽に出かけ、移動できる環境を整える。(生活交通として最低限の運行確保)

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	交通事業者	- 生活交通再編計画に基づき、バスの再編を行う。 - 廿日市市公共交通協議会を開催する。 - 沿岸部バス実証運行を継続する。

3 平成26年度 決算(活動実績・コスト情報・目標到達度)

実施した事業の内容（活動実績）	- 廿日市市公共交通協議会の開催（公共交通施策に係る関係機関の合意形成を図る） 構成員：学識経験者、住民代表、交通事業者、国、県、関連市等（3回開催（書面審議を除く）） - 沿岸部バス実証運行の継続 生活交通の利便性向上と持続可能な交通体系の構築を目指して沿岸部バス実証運行を継続し、各種調査に基づき適宜見直しを行った。 - バスロケーションシステム導入支援 広島県バス協会が行う民間路線バス及び自治体の自主運行バスへのバスロケーションシステム導入の支援を行い、バスを含む公共交通利用者の利便性の向上を図る。 ※ 平成26年度はセンターシステム等開発関連費用に対して補助を行った。平成27年度は市内民間路線バス及び市自主運行バスへの端末の設置ならびに市内交通結節点へのバス停表示機設置に対して補助を行う。 - 事業費関連 【歳入】 生活交通路線維持費補助金 3,500,000 円 自主運行バス関係自治体負担金 954,408 円 佐方地区運行に係る広島市負担金 計 4,454,408 円 【歳出】 公共交通協議会及び交通会議事務費 152,900 円 委員報償、費用弁償等 生活交通再編支援業務委託料 4,320,000 円 沿岸部運行計画等 廿日市さくらバス運行負担金 33,894,240 円 おおのハートバス運行負担金 23,415,699 円 バスロケーションシステム整備補助金 270,000 円 計 62,052,839 円							
	コスト情報（円）	項 目		平成 25 年度決算	平成26年度決算①	①のうちH25から繰越	H26からH27へ繰越	
		財源内訳	直接事業費 A	28,594,775	62,052,839		8,316,000	
			国庫支出金				8,316,000	
			県支出金		3,500,000			
			借入金（市債）					
			その他(使用料など)		954,408			
		市（市税など）	28,594,775	57,598,431				
	人件費(按分) B		1.80 人 15,274,800	1.80 人 15,433,200				
	総事業費 (A+B)		43,869,575	77,486,039				
ト換算	①	人口（4月1日現在）	117,680 人	117,182 人				
		市民1人当たり	373	661				
	②	利用者数	317,230 人	288,384 人				
		利用者一人あたり	138	269				
到達目標	活動及び成果指標		単位	H25実績値	H26目標値	H26実績値	H27目標値	備考
	活動成果	市自主運行バス路線数	路線	8	8	8	8	
		市自主運行バス利用者数	人	317,230	390,000	288,384	400,000	